

NWQグローバル厳選証券ファンド

(為替ヘッジあり/隔月分配型) (為替ヘッジなし/隔月分配型)

(為替ヘッジあり/資産成長型) (為替ヘッジなし/資産成長型)

愛称：選択の達人

分配金のお知らせと足元の市場環境について

2022年9月21日

平素は、『NWQグローバル厳選証券ファンド（愛称：選択の達人）』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当シリーズ4ファンドは、2022年9月20日に決算を迎えました。当期の運用状況と今後の見通しについてまとめましたので、報告申し上げます。

なお、各ファンドの当期の収益分配金（1万口当たり、税引前。以下同じ。）をそれぞれ以下のとおりと致しました。

引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

各コースの分配金（1万口当たり、税引前）

	為替ヘッジあり /隔月分配型	為替ヘッジなし /隔月分配型	為替ヘッジあり /資産成長型	為替ヘッジなし /資産成長型
当期決算 分配金	30円	70円	0円	0円
基準価額 2022年9月20日 現在	9,043円	11,240円	9,703円	13,151円

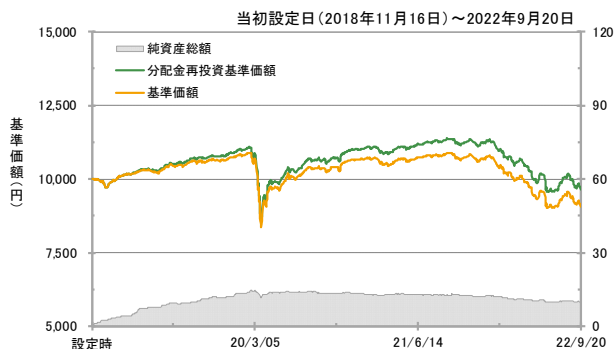
※分配金は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社（大和アセットマネジメント）が決定しますので、将来の分配金について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

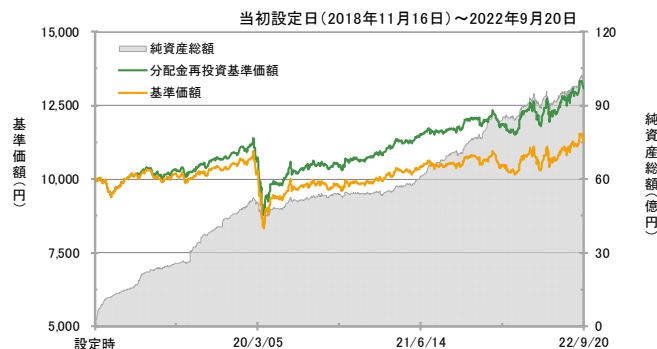
※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

基準価額・純資産の推移

為替ヘッジあり／隔月分配型



為替ヘッジなし／隔月分配型



為替ヘッジあり／資産成長型



為替ヘッジなし／資産成長型



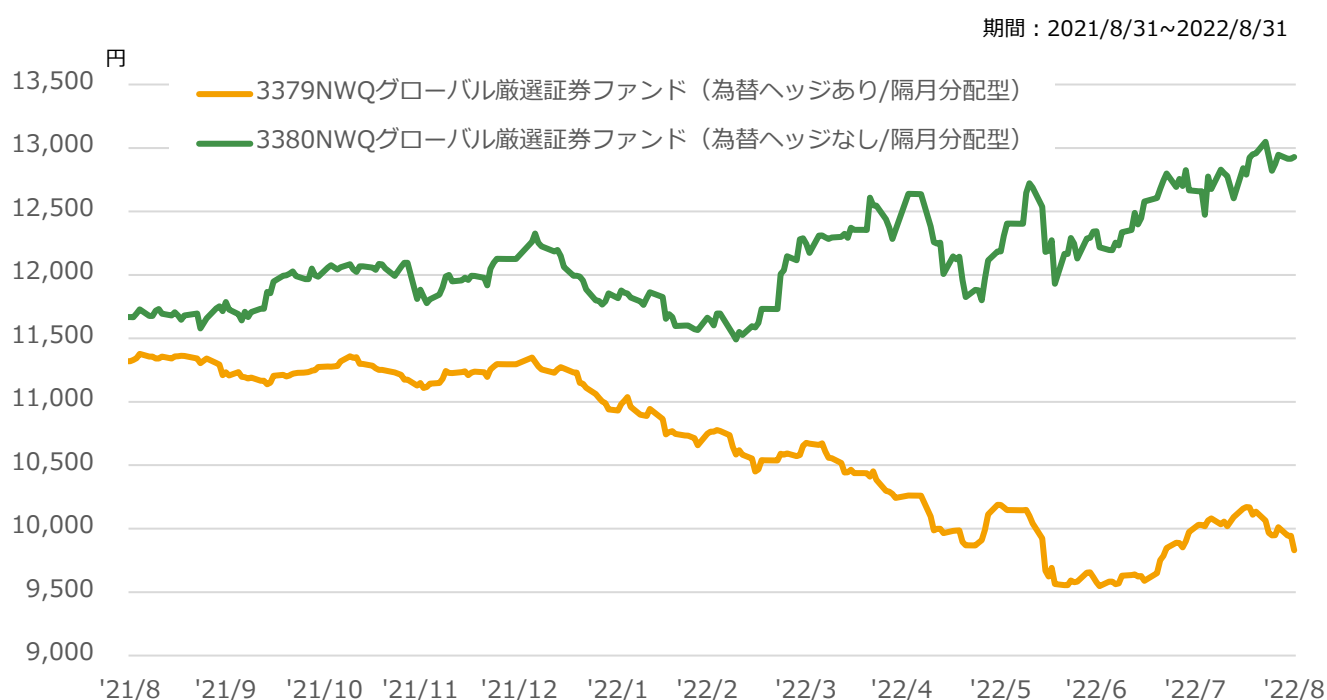
※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

お伝えしたいポイント

- ・ 米国経済は深刻な景気後退には至らない見通し
- ・ 魅力的な社債利回りの中でハイクオリティ企業に投資
- ・ 景気悪化リスクに備えつつ、魅力的な利回り獲得へ

過去1年間の基準価額の推移



出所：大和アセットマネジメント
※基準価額は分配金再投資ベース

米連邦準備制度理事会（FRB）の積極的な金融引き締めへの政策転換に対し、市場は今年に入って大幅な株安、債券安（利回り上昇）、米ドル高の反応となりました。その結果、当ファンドにおいては、為替ヘッジありの基準価額が債券安の影響で下落基調となり、一方で、為替ヘッジなしはドル高が債券安の影響を上回ったため上昇基調となりました。

今回は足元の米国経済環境を点検し、社債市場の注目点を踏まえて当ファンドの運用と今後の見通しを説明します。米国経済が深刻な景気後退には陥らないとの見通しの下、当ファンドの為替ヘッジありにおいても基準価額の下落基調に変化の兆しが出てくると思われるため、当ファンドは魅力的な利回りを含め、優れた投資機会を提供できると考えております。

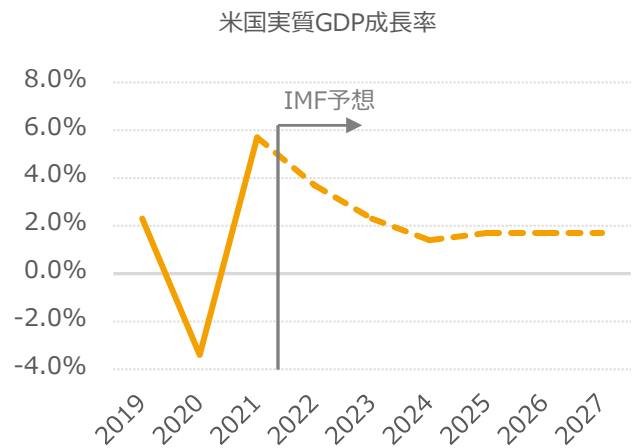
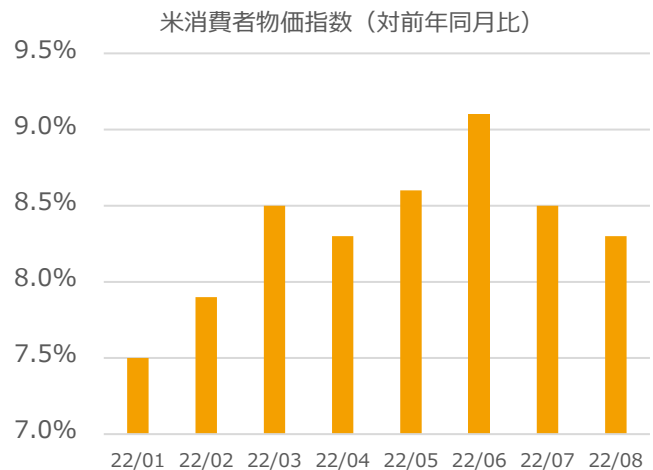
米国経済は深刻な景気後退には至らない見通し



米国経済は、2022年に入り、第1、第2四半期に小幅ながらマイナスのGDP（国内総生産）成長を記録しました。しかし、過去のリセッション時期と比べると、雇用は力強く推移しており、非農業部門雇用者数はコロナショック以前の水準を上回る過去最高の水準にあります。このような強い雇用情勢に半ば裏打ちされる形で消費も活発で、インフレの影響はあるものの、小売売上高も大きく伸び、高い水準にあります。

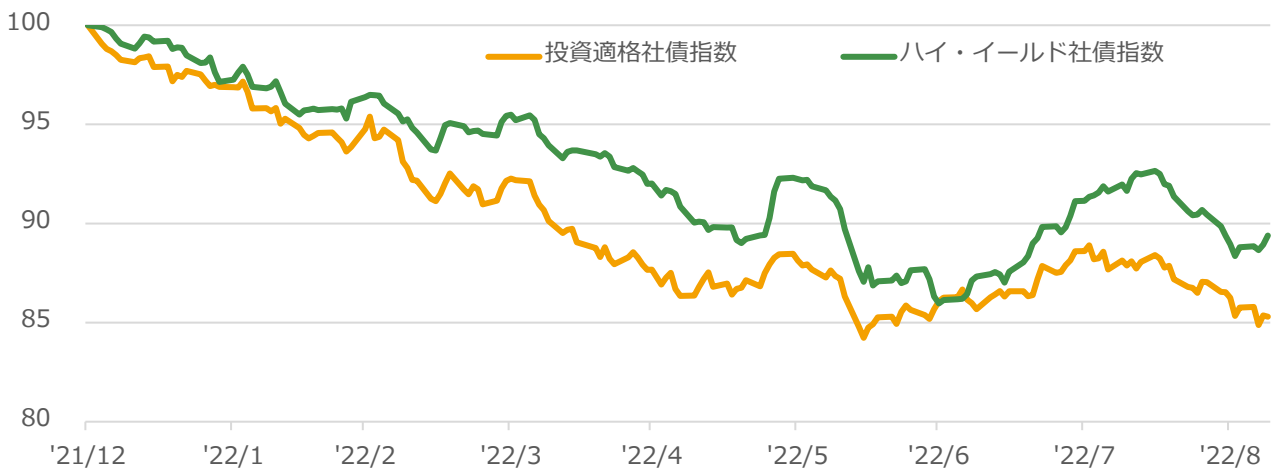
目下、市場の最大の関心はインフレ動向です。米連邦準備制度理事会（FRB）が注目する消費者物価指数は、22年6月の前年同月比+9.1%をピークに鈍化傾向にあります。今後も、原油や小麦などロシア・ウクライナ戦争の影響を強く受けた資源の価格低下が徐々に物価の落ち着きに寄与するものと考えられますが、FRBはインフレ水準抑制のため、引き続き利上げを進めていく方針です。

以上を踏まえると、利上げ継続により景気にブレーキがかかるものの、雇用、消費が底堅いため、米国経済は景気後退となっても浅い（マイナス幅が小さい）と考えられ、米国の実体経済へのダメージは限定的になると考えられます。



(上) 期間：1997/9～2022/8、月次データ、出所：Bloomberg
(右中) 期間：2022/1～2022/8、月次データ、出所：Bloomberg
(右下) 期間：2019～2027、年次データ、出所：IMF

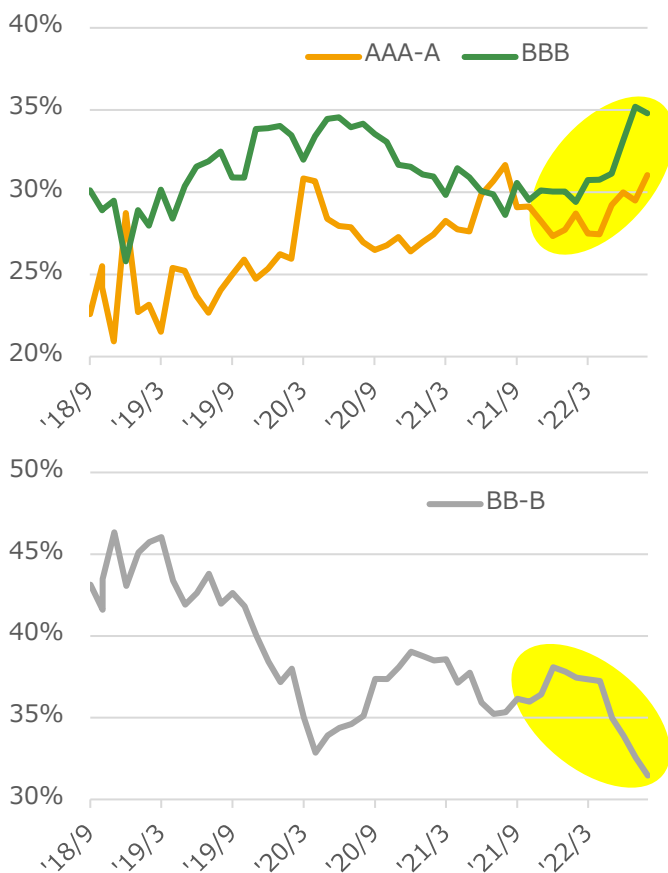
魅力的な社債利回りの中でハイクオリティ企業に投資



期間:2021/12/31~2022/8/31、2021年末を100として指数化。
投資適格社債指数はICE BofA US Corporate Index、ハイ・イールド社債指数はICE BofA US High Yield Index
出所:Bloomberg

22年7月のファンドレターで触れたように企業の財務体質は総じて健全であり、今後米国経済が景気後退となっても浅いと考えられることから、2008年の金融危機で見られたような広範な企業信用不安に至る可能性は低いと思われます。したがって、足元の景気後退懸念を背景とした社債価格の下落（社債利回りの上昇）は、次第に落ち着きを取り戻すと考えられます。このことは、足元の社債市場が魅力的な利回り水準にあることを意味しています。

ポートフォリオに占める発行体格付け別ウェイトの推移



(上下とも) 期間:2018/9~2022/8、月次データ。出所: Nuveen

浅いとはいえ、景気後退のリスクは軽視するべきではなく、ファンド運用にあたっては、発行体企業の分析と証券の選定がますます重要になります。

左の2つのグラフは当ファンドの保有する証券の発行体格付けについて、設定来からのウェイト推移を示したものです。

左上のグラフでは、当ファンドが、足元で投資適格格付けを有する発行体の証券保有を増やしていることがわかります。この増加の背景には、高格付け企業の発行社債への投資積極化に加えて、BB格からBBB格へと格上げされる企業の存在も影響しています。

一方で、左下のグラフからは、投資適格格付けよりも下の格付けの発行体のウェイトが大きく減少していることがわかります。

このように、当ファンドでは、魅力的な利回り水準にある社債市場において、信用格付けの高い企業を厳選して投資することにより、クオリティの高いポートフォリオを構築しています。

景気悪化リスクに備えつつ、魅力的な利回り獲得へ

■ インフレと景気の動向に注目しつつ、確実性の高い利回り獲得を目指す

22年8月時点	ウェイト	利回り
投資適格社債	25%	6.1%
ハイ・イールド社債	32%	7.5%
優先証券	18%	6.0%
転換社債	6%	9.0%
普通株式	14%	2.7%
現金	4%	-%
ポートフォリオ全体	100%	6.0%

出所：Nuveen

年初からの債券市場の調整を経て、当ファンドのポートフォリオ利回りは魅力的な水準に上昇してきています。昨年12月時点の利回りは3.7%でしたが、足元では6%に達し、アセットクラスの中には9%を超えるものも出てきています。

FRBの目標インフレ水準が2%以下であることを踏まえ、米国の物価上昇率は当面目標を大きく上回り、政策金利の引き上げは着実に進められる見込みです。利上げに伴い、景気後退観測が出ていますが、堅調な雇用、消費の下支えにより、深刻な景気後退には至らないと見えています。

インフレが徐々に収まり、景気後退懸念が高まりやすい足元の環境では、長期金利の更なる上昇余地は限定的と考えられます。この考えに基づくと、現在の高い社債利回りは魅力的な水準にあると言えます。

■ 今後の投資計画

米国経済について景気減速ないし浅い景気後退を想定していますが、想定以上の景気悪化に陥るリスクに備えるため、企業の財務状況を精査し、選別して投資することが重要と考えています。

当ファンドでは、投資適格社債について、金利上昇の影響を受けやすいため、今年前半にかけて投資比率を下げてまいりましたが、足元ではその利回り水準が高くなったことに加え、景気後退に耐えうる強い信用力の裏付けを持つ高格付け社債の魅力度が上がっていると考え、積極的な投資スタンスとしています。

一方、ハイ・イールド社債は、多くの発行企業の財務状況は健全であり、格上げの動きは続くと思込めますが、利上げをめぐる投資家の思惑により市場の値動きが荒い展開が予想されるため、高い利回りを確実に得られるような銘柄を厳選して保有しつつ、慎重な投資スタンスとしています。

また、優先証券は、主な発行体である金融機関や公益企業の経営状況が健全であり、変動利払い型の銘柄もあるため、投資妙味がありますが、足元で新規発行が限定的になっていることから優良銘柄の保有を継続します。株式は、今年年初からの大きな下落を経て割安感が強まりましたが、足元で株式市場の変動性が高まっていることを踏まえ、収益が安定的で業績の下振れ余地が小さいと考えられる企業の株式を厳選して保有してまいります。

改めてお伝えしたい、当ファンドの3つのポイント

POINT

1

債券並みのリスクで株式並みのリターン

POINT

2

有望企業が発行する株式、債券、優先証券、転換社債から低いリスクと高いリターンが期待される最適な証券を選択

POINT

3

高いインカム収入がパフォーマンスを下支え

当ファンドの運用を行なう

ヌビーン・アセット・マネジメント・エルエルシーについて



※2021年12月末時点。*換算為替レートは、（2022年3月末時点のレート）1米ドル=121.70円。

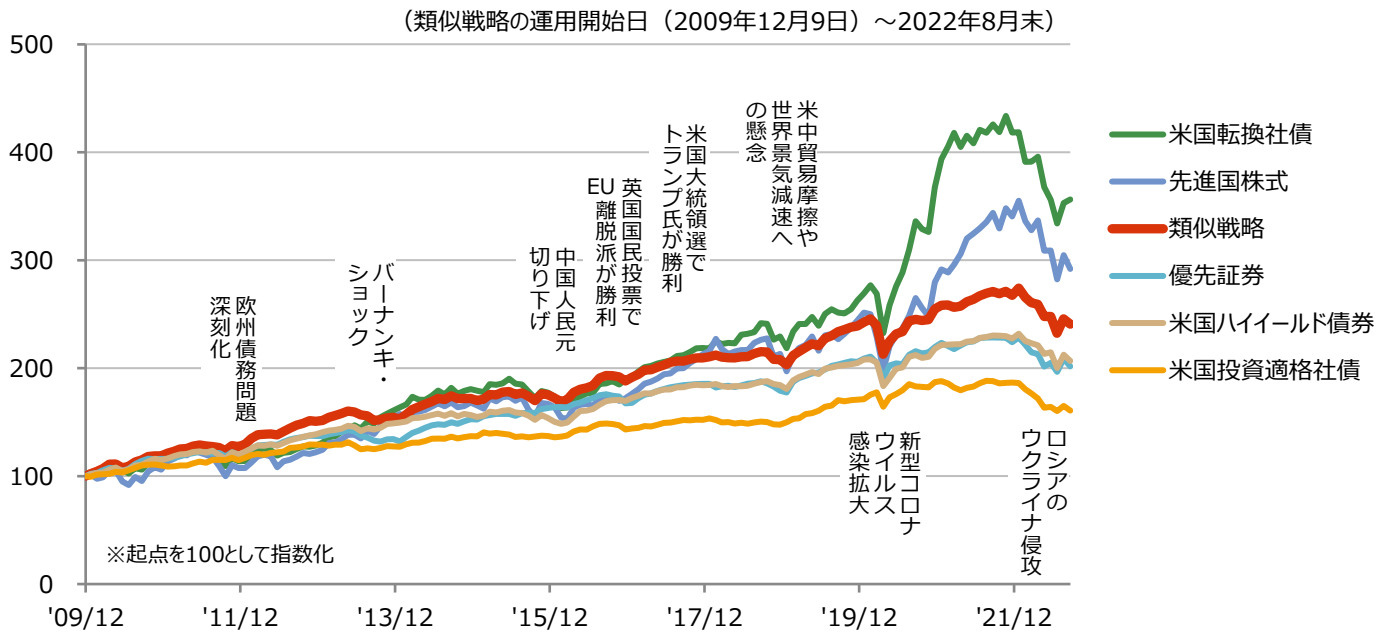
※当資料中においてヌビーン・アセット・マネジメント・エルエルシーをヌビーンと表記することがあります。

（出所）ヌビーン

Point 1. 債券並みのリスクで株式並みのリターン

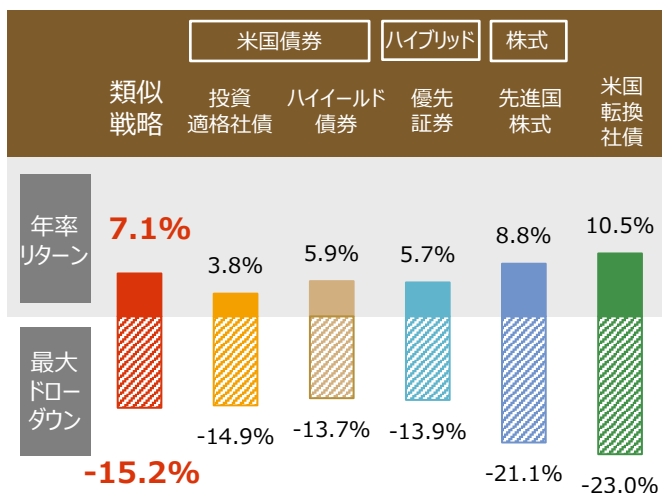
当ファンドの類似戦略は世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券、転換社債など）に投資しています。新型コロナウイルス感染拡大の影響により一時的に大きく調整したものの、設定来、市場が大きく変化する中においても、安定的なパフォーマンスを実現してきました。

当ファンドの類似戦略のパフォーマンス推移



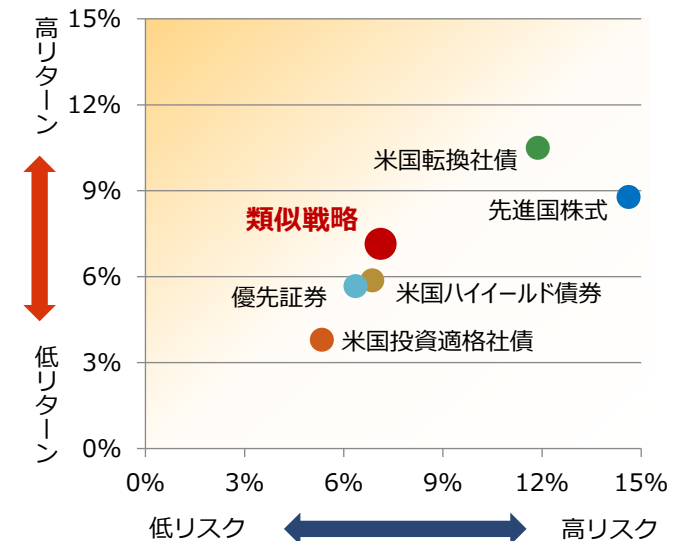
当ファンドの類似戦略の最大ドローダウン

(類似戦略の運用開始日 (2009年12月9日) ~2022年8月末)



当ファンドの類似戦略のリスク・リターン特性

(類似戦略の運用開始日 (2009年12月9日) ~2022年8月末)



*最大ドローダウン：過去の資産価格のピーク時からどれだけ下落したかを示します。その資産の安定性を図る尺度として使われます。
 ※上記資産はそれぞれ異なるリスク特性を持ちます。※類似戦略は米ドルベース、費用控除前のパフォーマンス。※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※各資産は米ドルベース、トータルリターン。※「先進国株式」はMSCI World Index、「米国投資適格社債」はICE BofA US Corporate Index、「米国ハイールド債券」はICE BofA BB-B US High Yield Index、「優先証券」はICE BofA Fixed Rate Preferred Securities Index、「米国転換社債」はICE BofA US Convertible Indexを使用。
 (出所) スピーン、ブルームバーグ

Point 2. 有望企業が発行する株式、債券、優先証券、転換社債から低いリスクと高いリターンが期待される最適な証券を選択

当ファンドは、マクロ環境の見通しに基づいて資産配分を行なう一般的なバランス型ファンドとは異なり、徹底した調査・分析に基づいて有望企業を選択し、その企業が発行する複数証券の中から、最も投資効率が良い（＝リスク調整後の期待リターンが高い）証券に投資します。

このような独自の投資戦略により、引き続き高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンの獲得をめざします。

債券並みのリスク・株式並みのリターンを追求する選択方法

選択の達人

徹底した企業分析を重視する**ボトムアップ・アプローチ**
“有望企業”の“最適な証券”を厳選し、ポートフォリオを構築

債券並みのリスク・株式並みのリターンを追求



同一企業が発行する複数証券の中から、最適な証券を選択



ステップ2

“最適な証券”
の選択

ステップ1

“有望企業”
の選択

バリュート投資に定評がある株式リサーチチームの企業分析により有望企業を選択

(ご参考)
一般的なバランスファンド

マクロ経済分析を重視する**トップダウン・アプローチ**
経済見通しに基づきポートフォリオを構築

ステップ1 マクロ経済の分析

景気、金利など市場環境を分析し、資産配分を決定

ステップ2 各資産内で投資銘柄を選定

魅力度に応じて各資産クラスの中で投資銘柄を調整

ポートフォリオ

株式

債券

優先証券

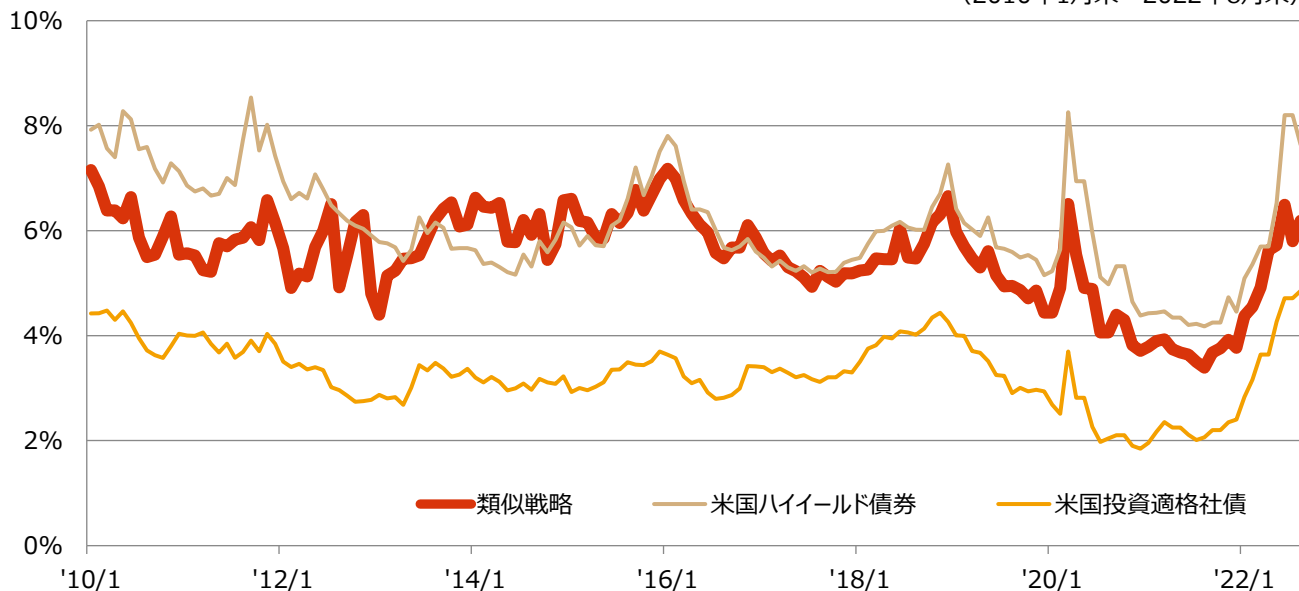
転換社債

Point 3. 高いインカム収入がパフォーマンスを下支え

当ファンドの類似戦略の利回りは、相対的に高い水準を維持してきました。

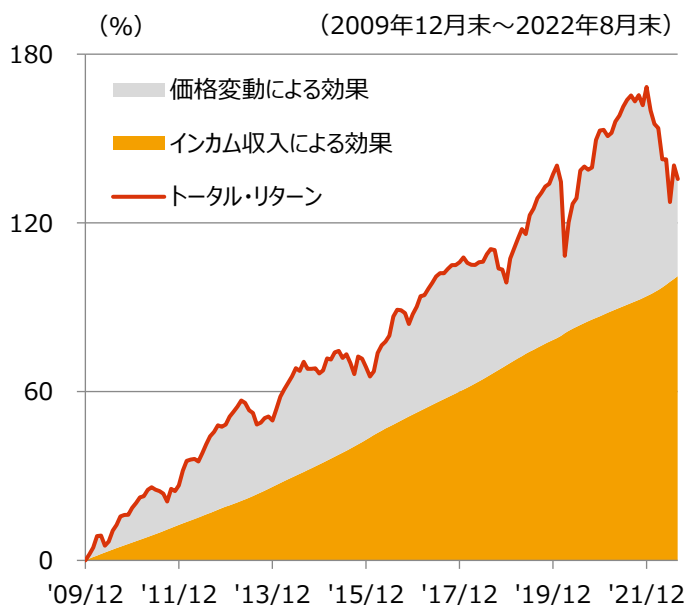
利回りの推移

(2010年1月末～2022年8月末)



相対的に高いインカムの積み上げがパフォーマンスを下支えし、当ファンドの類似戦略は累積でプラスのトータル・リターンをあげています。

当ファンドの類似戦略のリターンの要因分析



(2010年～2022年)

	トータル・リターン		
		①インカム収入	②価格変動
2010	18.7%	6.4%	12.3%
2011	6.7%	5.9%	0.8%
2012	17.1%	5.7%	11.4%
2013	0.9%	5.9%	-4.9%
2014	11.2%	6.3%	4.9%
2015	1.4%	6.5%	-5.2%
2016	11.1%	6.3%	4.8%
2017	9.9%	5.4%	4.5%
2018	-3.5%	5.9%	-9.4%
2019	19.4%	5.3%	14.1%
2020	6.5%	4.7%	1.8%
2021	6.1%	3.8%	2.3%
2022	-12.2%	3.7%	-15.9%
累積	135.6%	101.0%	34.6%

* 2022年は8月までのデータ。

※上記資産はそれぞれ異なるリスク特性を持つものであり、利回りの比較はあくまでご参考です。※利回りは最終利回りを使用。※類似戦略は米ドルベース、費用控除前のパフォーマンス。※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※「米国投資適格社債」はICE BofA US Corporate Index、「米国ハイイールド債券」はICE BofA BB-B US High Yield Indexを使用。

(出所) ヌビーン、ブルームバーグ

(ご参考) 長期保有で安定したリターンを獲得

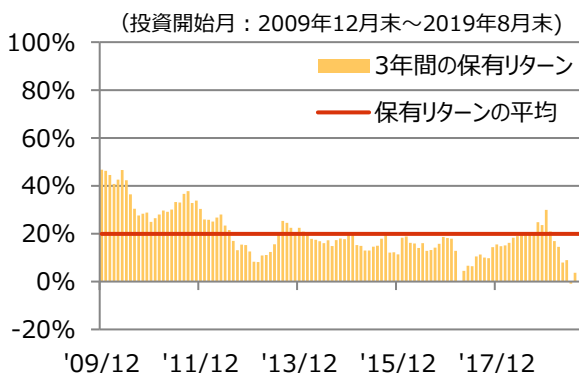
当ファンドの類似戦略は、相対的に高いインカムの積み上げにより、5年間継続保有したと仮定した場合、「為替ヘッジあり」「為替ヘッジなし」のいずれにおいても全期間プラスのリターンとなりました。

当ファンドの特徴である高いインカムは、時間の経過とともに安定的に積み上がっていくため、長期保有によってその効果を最大限に享受することができます。

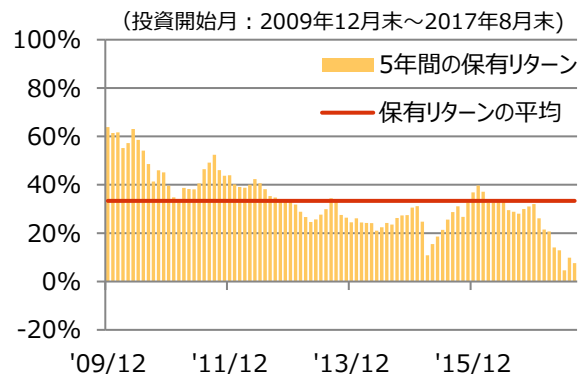
類似戦略の保有期間別リターン

為替ヘッジあり

〈3年保有の場合〉



〈5年保有の場合〉



保有リターン マイナス回数

3年保有	5年保有
3回/117回	0回/93回

保有リターン 最低値

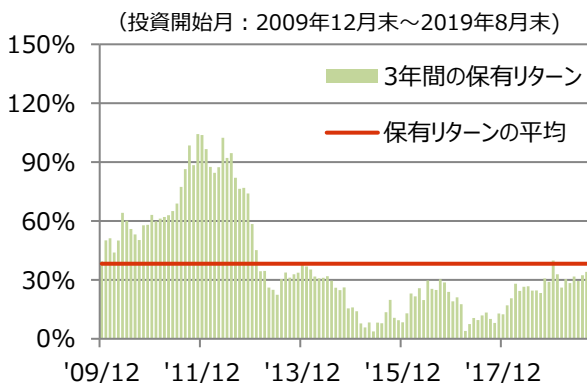
3年保有	5年保有
-0.9%	4.6%

保有リターン 平均

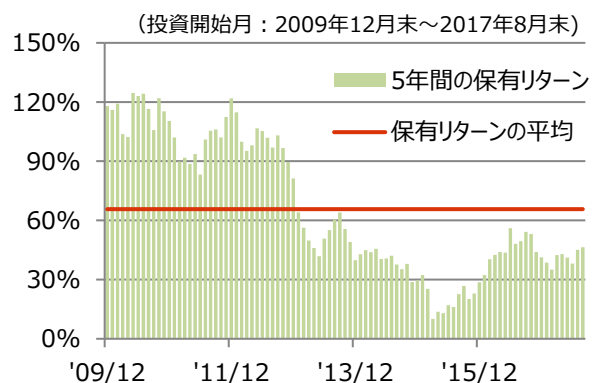
3年保有	5年保有
20.0%	33.4%

為替ヘッジなし

〈3年保有の場合〉



〈5年保有の場合〉



保有リターン マイナス回数

3年保有	5年保有
0回/117回	0回/93回

保有リターン 最低値

3年保有	5年保有
3.7%	10.0%

保有リターン 平均

3年保有	5年保有
38.2%	65.8%

※「3年間の保有リターン」において、例えば、「為替ヘッジあり」の'09/12の保有リターンは、2009年12月末から2012年12月末までの3年間保有したと仮定したリターン。「5年間の保有リターン」において、例えば、「為替ヘッジあり」の'09/12の保有リターンは、2009年12月末から2014年12月末までの5年間保有したと仮定したリターン。※「為替ヘッジなし」は円換算ベース。※上記の類似戦略は、当ファンドの投資対象ファンドである「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）（ヘッジなし・クラス）」と同様の運用チーム、投資哲学により運用された類似ファンドの米ドルベース、費用控除前のパフォーマンスを円ベースに換算した結果を表しており、当ファンドの運用実績とは異なります。また、あくまでも参考のために掲載したものであり、当ファンドの投資対象ファンドとは異なります。※上記は過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※「為替ヘッジあり」は為替ヘッジコストを考慮しています。

(出所) ヌビーン、ブルームバーグ

Daiwa Asset Management

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

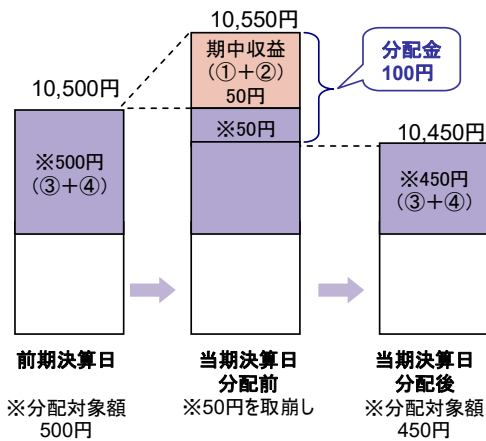
投資信託で分配金が支払われるイメージ



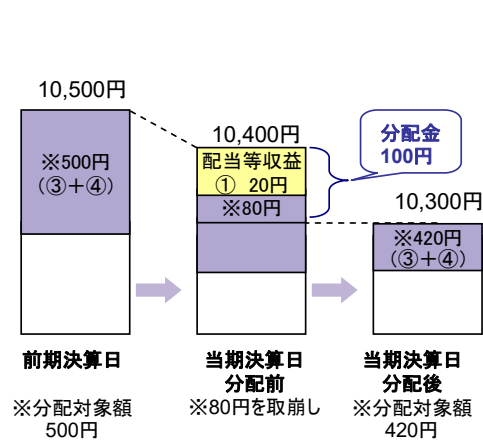
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



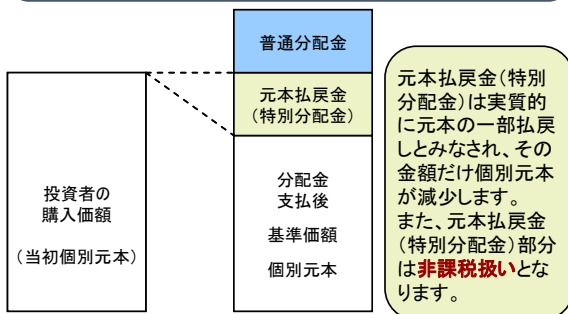
前期決算日から基準価額が下落した場合



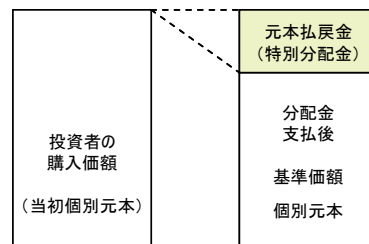
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

■ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 世界の米ドル建資産に投資を行ない、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資します。投資にあたっては、有望企業を選別のうえ、その企業が発行する証券の中で相対的に魅力度の高い証券を選択します。
 - ◆ ボトムアップ・アプローチにより、個別企業の財務状況、成長性や価格変動のきっかけとなる事象などに着目した評価・分析を行ない、有望企業を選別します。
 - ◆ 同一企業が異なるタイプの証券を発行している場合は、リスク・リターン効率などに着目して、相対的に魅力度の高い証券に投資します。
 - ◆ 運用はスピン・アセット・マネジメント・エルエルシーが行ないます。

2. 「為替ヘッジあり／隔月分配型」「為替ヘッジなし／隔月分配型」「為替ヘッジあり／資産成長型」「為替ヘッジなし／資産成長型」の4つのファンドがあります。

為替ヘッジあり／隔月分配型、為替ヘッジあり／資産成長型

◆ 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

為替ヘッジなし／隔月分配型、為替ヘッジなし／資産成長型

◆ 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。

販売会社によっては「為替ヘッジあり／隔月分配型」「為替ヘッジなし／隔月分配型」「為替ヘッジあり／資産成長型」「為替ヘッジなし／資産成長型」のいずれかのお取扱いとなる場合があります。くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

3. [隔月分配型] は年 6 回、[資産成長型] は年 2 回決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

[隔月分配型]

毎年 1、3、5、7、9、11 月の各 17 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

※第 1 計算期間は、2019 年 3 月 17 日（休業日の場合翌営業日）までとします。

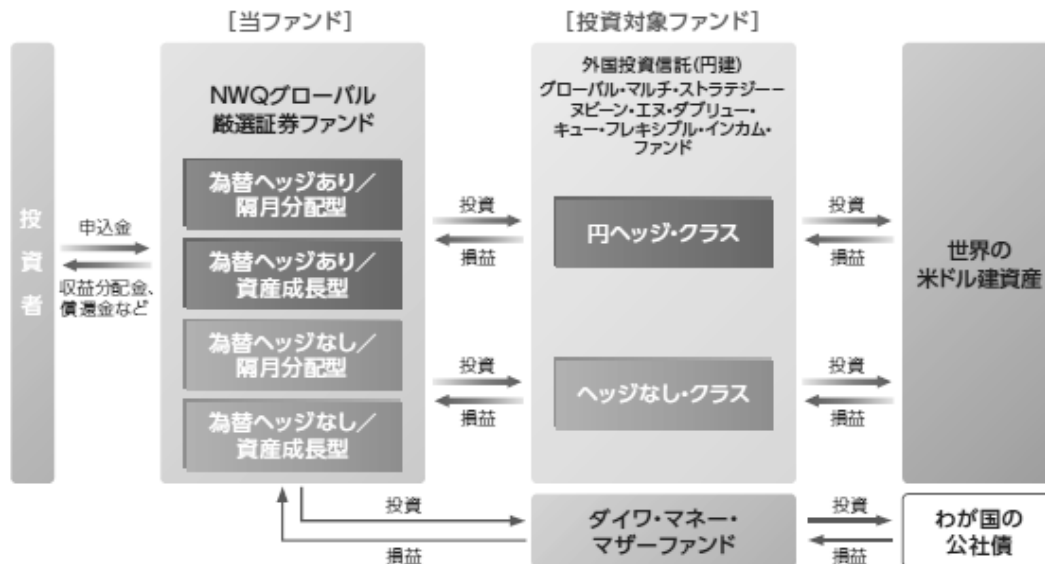
[資産成長型]

毎年 3 月 17 日および 9 月 17 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

※第 1 計算期間は、2019 年 3 月 17 日（休業日の場合翌営業日）までとします。

ファンドの目的・特色

4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。外国投資信託の受益証券を通じて、世界の米ドル建資産に投資します。



- ◆ 各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
- ① NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）：為替ヘッジあり／隔月分配型
- ② NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）：為替ヘッジなし／隔月分配型
- ③ NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）：為替ヘッジあり／資産成長型
- ④ NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）：為替ヘッジなし／資産成長型
- ◆ ①②の総称を「隔月分配型」とします。
- ◆ ③④の総称を「資産成長型」とします。
- ◆ ①②③④の総称を「NWQグローバル厳選証券ファンド」とします。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、公社債の価格変動、その他の価格変動）」、「為替変動リスク」、「コントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※「為替ヘッジあり／隔月分配型」「為替ヘッジあり／資産成長型」は、為替ヘッジを行ないませんが、影響をすべて排除できるわけではありません。なお、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※「為替ヘッジなし／隔月分配型」「為替ヘッジなし／資産成長型」は、為替ヘッジを行なわないので、基準価額は、為替レートの変動の影響を直接受けます。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

■ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) 2.2%(税抜 2.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.1275% (税抜 1.025%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.55%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用	年率 1.6775% (税込) 程度	
その他の費用・手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注) 「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問い合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

加入協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）（為替ヘッジなし／隔月分配型）
（愛称：選択の達人） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○		○
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）（為替ヘッジなし／資産成長型）
（愛称：選択の達人） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○		○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。